

架け橋期のカリキュラム（宇部フロンティア大学付属幼稚園）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
年 間 行 事	はじまりの会 歓迎会	春の遠足	日曜参観日 プール開き	七夕まつり 合宿			運動会 秋の遠足 いもほり	おいもパーティー わんぱくまつり 人形劇観劇 マラソン大会	クリスマス会 もちつき	交通安全教室 どんど焼き	豆まき 表現遊び発表会	角笛シルエット観劇 お別れ式 卒園式
ね ら い	・年長になったことを喜び、自覚をもつ。 ・年中少児と一緒に遊んだり、親切にしたりする。 ・友だちと一緒に工夫しながら遊ぶ。		・グループ遊びを工夫しながら、誰とでも仲よく遊ぶ。 ・開放感を味わったり、工夫したりしながら、積極的に水遊びを楽しむ。		・戸外で体を十分に動かし、友だちと遊びを工夫しながら思いきり遊ぶ。		・友だちと一緒に共通の目的をもって、意欲的に遊ぶ。		・一人ひとりの力を十分発揮して、表現活動を生き生きと楽しむ。		・友だちと一緒に思いきり遊び、残り少ない園生活を精一杯楽しむ。 ・1年生になる喜びをもつ。	
育 て た い 幼 児 の 姿	・年長になったことの喜びや期待感が見られる。 ・4歳児からのつながりのある友だちと一緒に遊ぼうとする。 ・新しいクラスへの緊張感や不安感をもつ。 ・年長になったことに自覚と自信をもち、年少、年中児に優しくしようとする。		・当番活動や片付けなどに意欲的に取り組む。 ・遊びに必要なものは工夫して作り、おもしろいことは友だちと伝え合う。 ・新たな友だち関係が深まるが、互いに主張がぶつかり、考えが伝わらないこともある。 ・いろいろな活動や遊び（竹馬、プール、木工、土粘土など）を通して、友だちに目が向いたり、仲間が広がったりする。	・七夕に親しみ短冊に願いを込めたり、七夕飾りに興味を示し、飾りを作ったりする。 ・和太鼓をたたいたり、盆踊りを踊ったりして楽しむ。 ・合宿を楽しみにする。	・夏休みに経験したことを、友だちや教師に伝える。 ・水遊びを楽しんでいるが、涼しくなってくると園庭での遊びが盛んになり、グループで活動する姿も見られるようになる。 ・リレーやクラス対抗の競技等に興味をもって取り組み、運動会を楽しみにする。		・仲間意識が高まり、グループ同士の関わりも見られるようになる。 ・一人ひとりが自信をもって行動するようになる。 ・自分の思ったこと、考えたことを話し合い、行事に向けて意欲的に取り組む。 ・お店屋さんごっこに興味をもち、喜んで商品作りをする。		・自分達の遊びを十分に楽しみ、年長児らしい積極的な姿が見られるようになる。 ・トランプ、カルタなどに興味をもち、いろいろな友達と一緒に楽しむ。 ・リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ。 ・問題が起きた時に自分の思いを相手に伝え、友達の考えも受け止めながら、よい方向に進めていこうとする。 ・劇遊びの中でストーリーや台詞を友達と話し合うようになる。 ・音楽に親しみ、楽器遊びを楽しむ。		・卒園記念作品の内容を友達と話し合い協力して製作しようとする。 ・卒園を前に友達と寸暇を惜しんで、今まで好きだった遊びやいろいろな遊びをする。 ・大きくなったことを喜びながら、卒園や入学を楽しみにする。	
教 師 の 援 助 ・ 環 境 構 成	・幼児たちと共に生活の場をつくっていくことを大切にし、その過程を通して年長組になった実感もてるようにしていく。 ・クラス全体の活動では、分かりやすいルールで、友達と触れ合えたり、みんなで盛り上がりたりできるゲームを取り入れる。 ・年長組になった喜びや緊張、不安などの心の動きを受け止め、安心して過ごせるようにする。 ・張り切って何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めて、言葉や態度、具体的な活動を通して支える。		・幼児の動きや興味の方向性を見極めながら、必要に応じて、遊びが更に発展していく用具を整えていく。 ・気候に応じて、幼児の健康に配慮した遊びが行えるような環境を構成していく。 ・トラブルでは、お互いの思いを教師が代弁し、相手に思いが通じるにはどうしたらよいか、気付けるようにする。 ・水遊びでは、物が浮く、流れる、冷たいなどの水の特性に気づき、気持ちよさを感じられるようにする。		・興味をもった運動遊びを友達と一緒に繰り返し楽しめるよう、パトン、竹馬など道具の準備や整理をする。 ・固定遊具などについては、教師が安全点検し、扱い方を正しく指導して安全に配慮する。 ・活動意欲の高まりとともに出る競争心、達成感を認め、自信がもてるようにする。 ・日々の様々な出来事について、一人一人の気持ちに寄り添いながら場面や機会をとらえ、内容によっては周囲の仲間に伝えたり、クラスで考えたりする。		・自分なりに挑戦したり、友達と思いや考えを出し合ったりしながら、自分たちで遊びを進めていけるような時間や場を保障し、じっくりと取り組めるようにしていく。 ・秋の自然物を使って、製作したり、遊びに取り入れたるように材料や場を用意し、遊びを知らせていく。 ・その子なりに目標をもって取り組んでいる姿を十分認め、励まし、満足感を味わえるようにしていく。 ・共通の目的に向かっている時に、思いの違いからトラブルが生じた時は、考えを共通化することの必要性に気付けるようにしていく。		・トランプやかかるた、すごろくなどを通して、文字や数量に興味や関心をもてるようにしていく。 ・劇遊びの雰囲気さがさらに高まるように幼児と話し合い、必要な道具、衣装などを、一緒に用意していく。 ・幼児たちの工夫を認め、より楽しくするために、友達と試行錯誤できるように援助する。 ・劇遊びが楽しくなるよう、一人一人の表現を十分に認め、表現を引き出すための言葉掛けをする。また、友達同士、互いのイメージを合わせていくことの必要性に気づき、受け入れ合えるように援助する。		・遊具や保育室の整理を一緒にに行い、修了式を迎える準備を進める。 ・一日の流れや長期的な見通しがもてるようにスケジュールや活動内容を伝えていく。 ・卒園までの時間を大切にし、園生活を振り返り、気の合った仲間という楽しさやクラス全体がつながっている心地よさを幼児たちと共に味わう。 ・就学に向けてスムーズに小学校生活に移行できるよう、園生活のリズムを整えていく。	
家 庭 ・ 連 携 と	・家庭訪問			・保護者懇談会			・ふるさとまつり		・もちつき ・保護者懇談会		・豆まき	・保護者懇談会
幼 小 連 携		・ハッピーこいのぼりプロジェクト								・幼保小連絡協議会		

架け橋期のカリキュラム（宇部市立藤山小学校）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
年間行事	・入学式 ・ハッピーこいのぼりプロジェクト ・交通教室	・1年生を迎える会 ・交通教室 ・運動会	・避難訓練 ・ブラッシング指導		・水泳指導		・社会見学 ・就学時健康診断		・持久走大会	・幼保小連絡協議会 ・避難訓練	・仮入学	卒業式
ねらい	・1年生になったことに喜びを感じ、楽しい学校生活が送れるようにする。 ・学校生活において、自分のことが自分でできるようにする。 ・学校生活に関わる人・場所・物に関心をもつことができるようにする。					・楽しんで学級活動に取り組めるようにする。 ・活動への興味・関心を高めることができるようにする。 ・クラスに愛着をもつようになり、友だちと協力することができるようにする。				・学校生活において自分の役割を自覚し、学習や学級活動に進んで取り組めるようにする。 ・1年間を振り返り、2年生への進学を楽しみにすることができるようにする。		
育てたい児童の姿	・気持ちの良い挨拶をする。 ・学級や学校のきまりがわかる。 ・生活時間に合わせて行動できる。 ・当番や係の仕事内容がわかる。 ・先生や友達に親しみをもって、関わろうとする。 ・良い姿勢が保てる。 ・話している人を見て、話を聞く。		・進んで挨拶ができる。 ・学級や学校のきまりを守って行動できる。 ・いろいろな友だちと活動ができる。 ・友だちの良いところを見つける。 ・自分の考えや思いを伝える。 ・最後まで黙って話を聞く。 ・時間を守り、学習準備をする。 ・新しいことに取り組もうとする。			・当番や係など自分の役割を果たす。 ・自分とは違う考えも受け入れられる。 ・相手のことを考えながら行動する。 ・話し方に気をつけて、理由などもつけ加えて話す。 ・難しいことにも挑戦しようとする。				・見通しをもって生活する。 ・して良いこと悪いことを判断し、良いと思うことは進んでする。 ・より良い方法をクラスで話し合うことにより、問題を解決したり、活動を進めたりすることができる。 ・自分の考えと比べながら聞く。 ・間違えたことやわからないことも、あきらめずに最後までやり遂げようとする。		
教師の援助・環境構成	・幼稚園、保育園でなじんだ歌や読み聞かせなどを取り入れ、つながりを意識した活動を取り入れる。 ・友達とふれあう活動で一日をスタートすることで、友達づくりに配慮する。 ・児童の実態に応じて、少しずつ45分授業に慣れるようにする。 ・生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動を取り入れる。 ・時計の絵などを活用し、時間や活動の見通しがもてるようにする。 ・年長児のときのリーダーとなってやりきった経験などを生かすようにする。 ・当番、係活動を通して、やり遂げた満足感や一体感がもてるようにする。		・挨拶ができていることを褒めながら、意欲付けする。 ・学校や学級での約束やきまりなどが守られたときは認め、自分たちできまりを意識して行動できるようにする。 ・教師や友達との信頼関係が築けるような集団づくりを行う。 ・人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いに分かち合える場を設ける。 ・安心して自分の意見が言えるよう、教師が一人ひとりの発言を受け止めるようにする			・一人ひとりの考えや思いを大切し、友達の思いや考えにも気づき、認めたり受け入れたりすることを大切にするようにする。 ・発言の仕方や、話型などを提示し、みんなの前で発言するときに自信をもって伝えられるようにする。 ・話し合いのルールや発表のルールを提示することで、安心できる学級作りを行う。 ・2学期の学習を振り返り、3学期に向けて学習内容の定着を図る。				・すぐに教師が教えたり手を出したりするのではなく、一人ひとりの取り組みもうとする姿勢を認め、友達とのつながりを考慮しながら、助け合えるようにしていく。 ・友達に声を掛けたり、手助けをしたりする姿を価値づけ、周りにも目を向けることができるようにする。 ・1年間の学習内容の定着を図るとともに、学年が上がることへの期待感をもたせる。		
家庭の連携と地域と	・入学式 ・参観日 ・個人懇談会	・運動会	・参観日		・コミスククリーンアップ			・参観日 ・就学時健康診断			・参観日	・卒業式
幼小連携	・入学式	・ハッピーこいのぼりプロジェクト						・就学時健康診断		・幼保小連絡協議会	・仮入学	